

真夏の暑さ、ゲリラ豪雨に負けず 関川村で100kmチャレンジを支援



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）新発田地域事務所（所長 2陸尉 櫻井正智）は、8月5日（水）から8月7日（金）の間、関川村教育委員会主催の「関川子どもチャレンジ100」を同行支援しました。

これは、関川村の小学校高学年の児童とボランティアの中学生が参加し、同村内から山形県米沢市に伸びる「越後米沢街道」を含めた100kmのコースを歩ききるイベントです。

このイベントは4泊5日で行われ、参加児童の協調性、信頼感、達成感、克己心（こっきしん）を培う目的で実施されており、自衛隊としての同行支援は、道中の安全確保と自衛隊への信頼感の醸成を目的に行っています。

同行支援4回目となる今回は、新発田地域事務所長と第30普通科連隊の隊員を含めた4名が、後半の3日間に同行しました。コースには未舗装の山道や、高低差のある峠道もあり、同行の自衛官が危険箇所を注意深く点検し、参加児童の安全を図りました。

また、道中の休憩時には、参加児童から歩き方のコツや、迷彩背のうの重さ、行進訓練の経験を質問される等の交流を行いました。



参加児童10名は、気温30度を超える暑さや、突然のゲリラ豪雨にも負けず、ゴールを目指して一生懸命歩ききり、最終日に無事ゴールに到着し、家族と笑顔で達成を喜んでいました。

新潟地本は、今後も県内各部隊と協同し、地域のイベント支援等による自衛官とのふれあいの場を通して、各自治体との信頼関係を向上していきます。